

しまね社会貢献基金登録団体

特定非営利活動法人自然と人間環境研究機構



豊かな自然とは何か。

宍道湖や中海など水環境の課題を探り、地域社会に貢献します

団体の活動、セールスポイント

私たちの法人は、大学や公立機関の研究者・OBや宍道湖漁協の組合員などからなる、現場に詳しい専門家の集団です。宍道湖・中海と島根県内の河川などを主な活動の場として調査研究や環境学習を行っています。

宍道湖のヤマトシジミ、中海本庄水域の魚類、島根県の河川に生息する魚、水草やヨシ、自然再生など水環境の課題について調査研究をしています。

調査研究で得られた結果をもとに、学校や公民館など地域の皆様とともに、環境学習を行っています。川に入ってタモ網で魚をとる、作った釣竿でゴズを釣って調理して食べるなど、実体験を通して生き物に親しみ、環境についてみんなで考えるような活動をしています。



団体から寄附者へのPR

宍道湖がアオコの湖となれば観光業に影響し、餌の減少によりシジミ激減を招いて水産業に影響し、また、水辺での子どもの遊びもなくなります。このように環境変化は回りまわって地域経済や地域住民に大きな影響を与えるので、これまでの現場経験を活かし、地域のために少しでも役立つような環境調査研究や環境学習を進めたいと考えています。宜しくご支援お願い申し上げます。

寄附を受けて取り組みたい事業

これまでに寄附を活用して実施した事業

●出雲ウナギを増やそう調査事業

その昔、中海の天然ウナギは大阪に運ばれ、300軒余りあったとされる「出雲屋」で食べられていました。現在、このニホンウナギは大きく減少し絶滅危惧種に指定されています。中海や宍道湖でも減っています。もっと増やすことはできないか。この平成27年9月から、地元企業や島根県の支援を受け、宍道湖や周辺河川でウナギの生態調査を始めました。復活に向け今後も継続したいと思っています。

●水辺の環境学習

子どもさんを対象とする環境学習を、毎年継続するようにしています。環境学習は、地域社会とつよに行う活動なので、園児・児童や住民の皆様が楽しく無理なくできるよう、幼稚園・小学校・公民館と密接な関係を保つよう努めています。また、ホームページに、中海・宍道湖などに生息する魚介類を紹介する生き物図鑑の作成も進めています。

団体の目標

- 学術と施策をつなぐ現場重視の調査研究
- 調査研究に基づく環境改善や自然再生の提言
- 子どもさんとの実体験を楽しむ水辺の環境学習



特定非営利活動法人
自然と人間環境研究機構
代表者 石飛 裕

〒690-8515 島根県松江市西持田町200
tel 0852-26-7584
fax 0852-26-7584
hp <http://naturahuman-stud.org>